



しかはま自然観察会

のらえもん

『 人も 自然も みんな友だち 』

2024 年度

No. 14

2024. 12. 21

第14回活動

もちつき 2回目

みんなの健康と豊作を願って
今年も37人が集まって
もちつきをしました。
こどもたちも、杵を持ち上げて
「ペッタン!」「ペッタン!」と、
気持ちよい音をあげました。

1, 日 時: 2024年12月21日(土) 15:00~17:00

2, 天 気: おだやかな晴れ

3, 場 所: 山口さんの家および駐車場

4, 参加者: 総数37	内訳	大人	13
		専門	1
		中学	8
		小学	8
		幼児	2
		スタッフ	5

5, 指 導: 渡辺 春子
春日 伸雄

6, もち米: ヒメノモチ8kg
去年は6kgでした。

7, 餅の種類: あんこ、きなこ、醤油とのもろ、大根おろし
豚汁を、山口さんが用意してくれました。

8, お土産: 各家族に、お餅とギンナン(山口さんの庭のイチョウで実ったもの)

9、活動の様子

2回目のもちつきは、とても盛り上がりました。

駐車場に用意された臼と杵、それを取り巻く子どもたちと保護者のみなさん。

蒸された2kgのもち米を臼にいれ、杵を持った春日さんが力を込めてこねていきます。「これを、しっかりすることがコツなんだ」と、もち米の粒が見えなくなるまでこねていきます。

全部の米粒がくっついたら、いよいよ、杵を振り上げてついていきます。

春日さんがつく、コンコンといい音がします。美味しそうな音です。「では、みんなも、やってみる」といって、中学3年生の諒也くんに変わりました。「グジュ」と鈍い音です。コツをつかみきれていないようです。諒也くんの友だちである川畑くん・藤原君も試みましたが、やはり同じでした。それでも、意味のある体験になりました。小学生にも、杵を持ち上げてもらいました。

仕上げは春日さんの軽快な音と春子さんの手際良い返しで、粘り気のある柔らかい餅がつき上がりました。

湯気の立つその餅をボールに入れて、室内のテーブルに運びます。待機しているお母さんたちが手際良くちぎり、あんこ・きなこ・醤油・大根にとりわけていきます。

つくたての餅を、子どもたちはお腹いっぱいにあたべました。

北区からかけつけてくれた4人の中学生も、杵の重さの感触を腕に残しながら餅を味わってくれました。

忘年会

片付けを済ませ、最後に残った人たちで、ささやかなのらえもんの忘年会をしました。

餅つきには、なくてはならない人の渡辺春子さん。そしてそのお孫さんたち。

もちつきのために、わざわざ手伝いにきてくれた村中さん・高橋さん。

スタッフの一員として、今年度から活動に参加しているゲーム機器の専門学校に通学中の川井君。

いつも一升瓶を抱えて参加してくれ心優しき山岸さん。

のらえもんのホームページや助成金などをいっ手に引き受けてくれている栗原さん。

反省会の会場として、集まる場を提供してくれている山口さん。

のらえもん活動の細かいところにまで心をさいてくれる春日さん。

そして、猪突猛進で挑戦しながら考える古高。

皆さんと和気あいあいでこの一年を締めくることが出来、感謝でいっぱいです。

また、ここには参加していないのらえもん会員の一人一人にたくさんのご協力をいただいたからこそこの一年の活動ができたことを、深く感謝申し上げます。

最後になりましたが、皆さんにとって、来年も良い年であることを願っています。